

議事要旨(1) 金融商品会計基準（金融資産の分類と測定）の見直しに関する検討状況の整理（案）について【公表議決】

加藤副委員長（専門委員長）より、「金融商品会計基準（金融資産の分類と測定）の見直しに関する検討状況の整理(案)」に関し、前回委員会での指摘事項に関わる修正箇所を中心に文案の説明を行った後、本日の審議の後、公表を議決する予定であることが説明された。委員からの発言及び事務局からの説明は以下のようなものであった。

- ・ ある委員から、10月初めから11月中旬までは中間決算（第2四半期）の作業時期に重なるため、提案のコメント期限をあと半月程度延長して欲しいとの依頼があった。これに対しては他の委員から特段の異議がなかったため、11月末に変更することとなった。
- ・ ある委員から、株式 OCI オプションを選択した場合のリサイクリングに関しては、これまで ASBJ は IASB に対してリサイクリングすべきとの立場をとってきているので、検討状況の整理においてもこれまでの ASBJ の立場と同様にリサイクリング維持に力点を置いてもよかったのではないかという感想が述べられた。また、別の委員から、リサイクリングの話は個別の基準とは別に概念フレームワークの問題として包括的な検討を続けていくべきとの参考意見が出た。さらに同委員からは、IFRS 第9号が日本の意見を考慮した部分もあることから、リサイクリングについても IFRS 第9号の取扱いを受入可能なものかどうかという視点で議論を進めてもよかったのではないかとの感想が述べられた。これに対して事務局からは、リサイクリングの問題については検討状況の整理に記述される委員会での賛成意見や反対意見も参考に関係者からのコメントが頂きたいこと、及び、ASBJ としても本件とは別に包括的検討の必要性を認識しているとの回答があった。
- ・ ある委員から、リサイクリングに関して連結と個別で異なる取扱いとする可能性は議論しないのかとの質問があった。これに対して、事務局から、現在は検討状況の整理の段階なので、本格的な検討はまだ行っていないとの回答があった。

その後、採決が行われ、字句等の修正については委員長に一任することを前提で出席者 10 名全員の賛成により、「金融商品会計基準（金融資産の分類と測定）の見直しに関する検討状況の整理(案)」の公表が承認された。

以 上